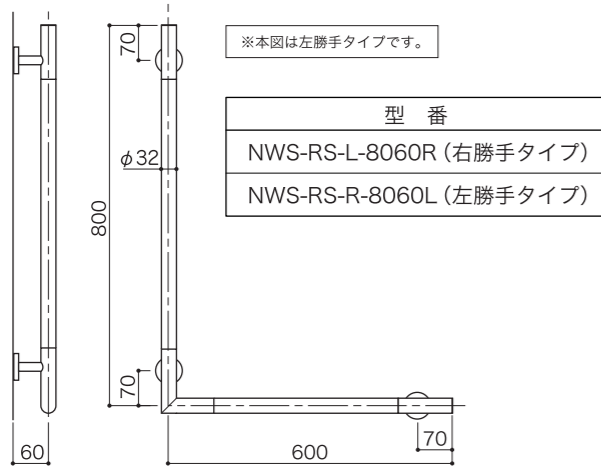
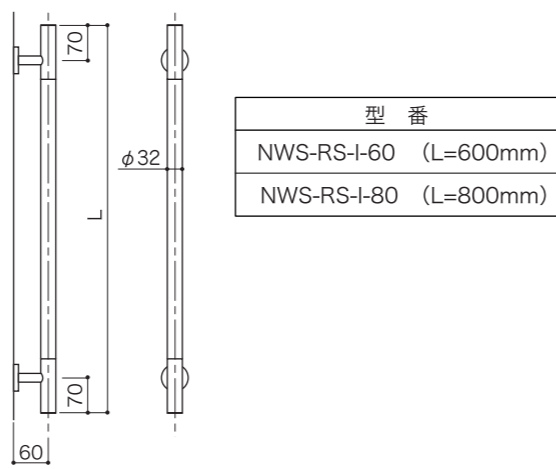


製品図

L型



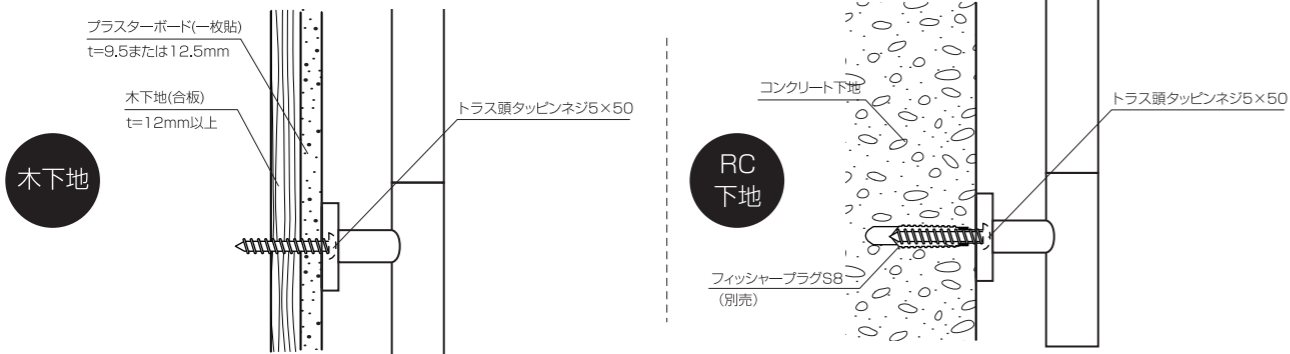
I型



笠木材質
木部(ビーチムク材)
ステンレス部(SUS304)

！ご注意 本体は天然木です。その特性上、色や木目の違いが起ります。あらかじめご了承ください。

施工例



！ご注意 タッピンネジは必ず製品付属品をご使用ください。

梱包内容

手すり本体(ブラケット付) 1本 	トラス頭タッピンネジ5x50 (ステンレス) 4本(I型) 6本(L型) 	ブラケットカバー(ステンレス) 2個(I型) 3個(L型) 	取扱説明書/施工要領書(本書) 1枚
----------------------	--	-----------------------------------	------------------------

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノメタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

取扱説明書

お客様用

ステンレス+木 コンビネーション手すり
バウムNライン NWS-RSタイプ

本製品は動作補助のための手すりです。玄関やトイレ、廊下など室内の乾燥した場所に設置し、定期的な清掃・メンテナンスを行うことでいつまでも気持ちよく使用できる製品です。

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- ！お願い** この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。
- 禁止** この記号はやってはいけないことを告げるものです。

お手入れ方法

！お願い ぶだんはやわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをしてください。仕上げに乾拭きして、水分を完全に除去してください。

！注意 酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。 クレンザー、磨き粉は使用しないでください。
酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になりますので使用しないでください。
クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。

ご利用の前に

！警告 ガタツキがあるものは使わないでください。 製品を分解・改造しないでください。
本製品にガタツキ等の不具合が発生した場合、そのままご使用を続けると、手すりが外れて重大事故につながる場合があります。その様な場合は直ちに使用をやめ、最寄りの弊社相談窓口にご連絡ください。
施工後は固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造しないでください。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合があります。

！注意 強い衝撃を与えないでください。 破損があるものは使わないでください。
本製品に物をぶつかけたり、強い衝撃を与えないでください。手すり部分が破損し、思わぬケガの原因になります。
手すり部分にささくれ、大きなへこみ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めてください。手にケガをする恐れがあります。
火を近づけないでください。 安全荷重以上の力をかけないでください。
本製品にタバコなどの火を近づけないでください。変形、変色の原因になります。
安全荷重は、水平・鉛直共588N(60kgf)です。それ以上の荷重をかけないでください。ゆがみや脱落等故障の原因となります。

製品にぶら下がらないでください。

本製品にぶら下がると、手すりが破損し、思わぬケガの原因になります。ブラケット取付部分の壁が破損するおそれもあります。

！お願い

本製品に、破損やささくれ等がみられた場合はすぐに使用を止めて、最寄りの弊社の問い合わせ先へご相談ください。

ステンレス+木 コンビネーション手すり バウムNライン NWS-RSタイプ

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- お願い** この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。
- この記号はやってはいけないことを告げるものです。

警告



必ず強度のある壁や建築構造体に取り付けてください。

強度の弱い壁や、石膏ボードで下地の無い壁などに手すりを施工すると、使用中に壁が壊れたり、アンカーが抜けるなどして、手すりが外れ重大な事故につながる可能性があります。このような場合、必ず本書の施工手順に記載した施工例にそった下地補強を行った上で、手すりを施工してください。

必ず実行

注意



施工業者以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

破損の原因になります。使用中に外れたりして使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。

分解禁止



屋外や浴室には絶対に使用しないでください。

本体が天然木のため、屋外や浴室など濡れやすい場所で使用すると腐食により手すりが破損し、使用される方がケガをする恐れがあります。



必ず同梱のタッピンネジを使用してください。

同梱のタッピンネジを使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。

必ず実行



取付完了後、手すりにガタツキが無いことを確認してください。

手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。

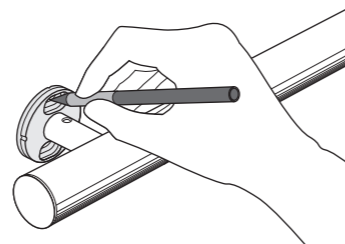
必ず実行

施工手順

1. 下地の確認と位置決め

使用工具 電動ドリル、キリ、プラスドライバー

施工前に必ず下地(施工例を参照)を確認してください。下地が無い場合は事前に壁補強工事が必要になります。次に取付位置に手すりを仮固定し、ブラケットの穴位置をマーキングしてください。

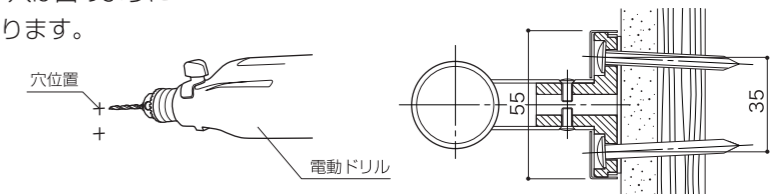


施工手順

2. 穴あけ

下表を参照し、電動ドリルで壁下地にあった下穴を、ブラケットの穴位置にあけてください。この時、下穴は図のように斜めにあけると手すりをビス固定しやすくなります。

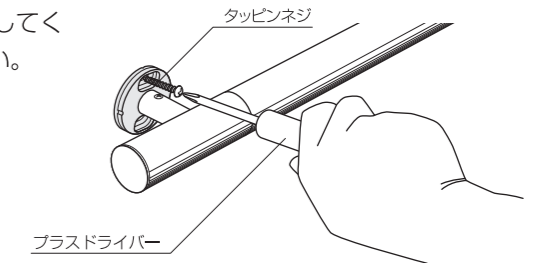
下地の種類	下穴(mm)
木下地	φ3×深さ55以上
コンクリート下地	φ8×深さ55以上



3. 手すりの固定

プラスドライバーを使用し、付属のタッピンネジで手すりを固定してください。この時、ネジは必ず最後までしっかり締め込んでください。

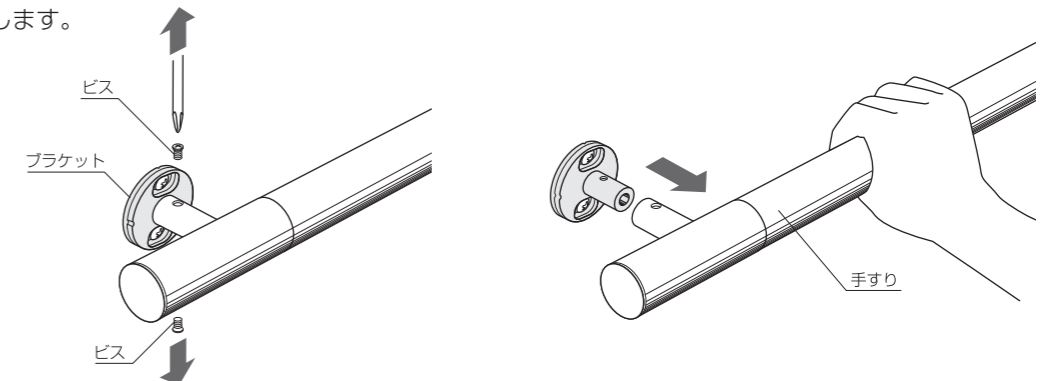
- 注意** タッピンネジの締め込みはインパクトドライバー等の電動工具を使わないでください。力が強すぎる場合、ネジ穴が崩れてネジが効かなくなる場合があります。



4. ブラケットカバーの取付

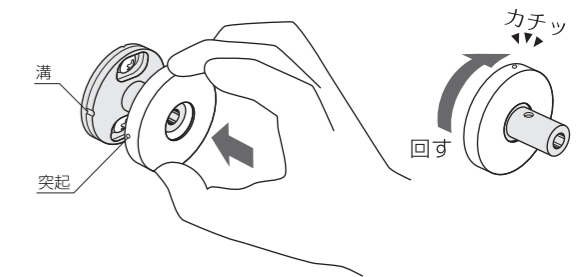
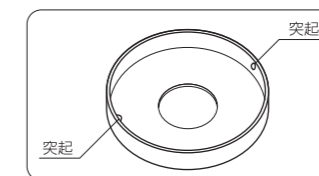
① 手すり本体とブラケットの分離

ブラケットを固定しているビス(1ヶ所につき2個)をプラスドライバーで外し、ブラケットを壁に残し手すりを外します。



② ブラケットカバーの取付

ブラケットカバーの突起(2ヶ所)をブラケットの溝にあわせカバーを被せます。カバーを90° カチッというところまで回転させカバーを固定します。



③ 手すり本体の固定

4-①の逆手順で手すり本体をブラケットに固定します。ブラケットを全て固定した後、手すりにガタツキがないかを確認し施工を終了します。

